

平成 28 年度

岩手医科大学 教養教育センター

# 授業評価報告書

教養教育センター

教育評価研修専門委員会





# 目次

1. はじめに	1
2. 岩手医科大学教養教育センター授業評価 内規・要領	2
3. 実施結果	4
□ 「学生による授業の評価」平均ポイント	
● 「授業の評価」総合結果	
● 「授業の評価」評価実施時期別（前期・後期）結果	
● 「授業の評価」専門・教養別結果	
● 「科目全体の評価」総合結果	
□ 平成 28 年度 Best Teacher/Best Class	
4. 結果の解析	12
□ 学部別総合評価（設問 16）ポイント	
□ 評価人数と総合評価（設問 16）ポイントとの相関	
□ 総合評価（設問 16）ポイント分布	
5. 参考資料	16
□ 授業評価マークシート	
学生による授業の評価/教員による講義・実習の評価/学生による科目全体の評価	
□ 平成 28 年度 第 1 学年授業科目一覧	
□ 平成 28 年度 教養教育センター授業評価実施状況	

## はじめに

教育評価研修専門委員長 江尻 正一

今から丁度 90 年前に公開されたドイツ映画に『メトロポリス』という題のサイエンス・フィクションがあります。その映画は、上層に住む知識指導者階級と下層で生活している労働者階級に二極化してしまった 100 年後の未来都市を描いています。支配層の主人公フレージャーは被支配層の娘マリアと出会うことによって、二極化社会の実態を知ることになりますが、マリアは誘拐されて、アンドロイドの正体を隠した偽物マリアが現れます。偽物マリアによって扇動された労働者達は上層社会の機械を破壊し、システムが制御不能となってしまう、地下が水没し始めて、取り残された子供たちに命の危険が迫ります。そのような状況の中、フレージャーは「頭」と「手」の間には「心」があること、そして自分に課せられた使命に気付きます。

もう 10 年経つと、この映画で描かれた 100 年後の未来となりますが、私たちにもフレージャーの気付きが求められているかもしれません。現在、多くの先進国では、機械、ロボット等、そしてインターネットで代表される ICT が発達し、表面的には、簡単に情報獲得、伝達、処理、表現、発信ができて単純労働が少なくなっています。自動車運転を例として挙げると、私たちは運転、整備に関する高度な知識や技能を持たなくとも、機械の進歩とともに運転がとても快適に操作できるようになっています。しかしながら、高度な知識、技能を必要としない分、ハンドルを握る心が瞬時に運転に反映されやすくなります。時間変化する様々な状況から瞬時に知と技を繋ぎつけて統合する心、他者と分かち合う心のあり方が重要視されます。

そして今や、IoT、ビッグデータ、AI 等の実用によって社会は新しい段階に入ろうとしています。私たちは、基本的な知識、情報も、Android OS 搭載スマートデバイスなどによって簡単に獲得できることから、大事なことを記憶せず、表面的な理解、行動に陥る危険性があります。一方、膨大な記憶や広範囲に渡る理解を求めても、AI とは異なる人間の意義が問われます。私たちは、より一層、知識（ラテン語 *scientia*）と術（ギリシャ語 *τέχνη* [ラテン語 *téchni; artem*]) を結び付けて俯瞰的に統合する力、他者と通じて創造する力、そしてそれらを動かす心のあり方が問われているかもしれません。

教育においても、たとえビッグデータに基づく AI 指導学習が始まったとしても、必要以上の暗記・マニュアル主義的学習は避けるべきで、知識、技能等を応用、活用、総合化する思考、理解力そして創造する力を育み、成績評価ではパフォーマンス評価などを採り入れるべきかもしれません。今後、授業評価/教育評価もそのような観点に基づいて再検討・整理した方が良いのかもしれない。

本年度、多くの教職員と学生達の協力によって授業評価アンケートの結果を報告書としてここに纏めることができました。成績評価と共に、この授業評価報告書が、授業担当者に対して、授業内容の見直し、気付きそして授業改善に大いに生かされる一助、および本センターの教育評価（教育理念に基づく教育力評価）の一助となることを希望します。そして授業評価および授業評価報告書の改善に向けて広く御批正を乞い、提言をお願いする次第です。

最後に、授業評価報告書が完成できたこと、皆様に大いに感謝の意を表します。

2017 年 3 月

## 教養教育センター授業評価に関する内規

(目的)

第1条 教養教育センター授業評価（以下「授業評価」）は、教育の合理的・効率的実施と教育環境の経時的・合目的改善と外部評価に耐えうる教育の自主的評価の確立を目的とする。

(運営)

第2条 授業評価は、教養教育センター委員会（以下「センター委員会」）および教養教育センター教育評価研修専門委員会（以下「本委員会」）が運営する。

(評価)

第3条 授業評価は教養教育センター所属の全教員ならびに第1学年の全科目と当該教員を対象とする。

- 2 各学部第2学年以上で担当する科目に係る授業評価実施の諾否は、当該教員の承諾があれば教養教育センター長（以下「センター長」）および教育評価研修専門委員長（以下「本委員長」）の許可を必要としない。

(評価の解析と開示)

第4条 評価用紙、調査結果の解析は本委員会が行う。

- 2 調査結果・解析結果（以下「結果等」）は、センター長および本委員長が当該科目の科目担当責任者及び当該教員に通知する。ただし、結果等は教員の勤務評定・学生の成績評価に影響を与えるものではない。
- 3 評価の高い教員（非常勤講師を含む）については、当該教員の下承を得た上で結果等を公表し表彰する。
- 4 評価用紙に記入した学生の氏名等は被評価者（当該教員）には公表しない。
- 5 評価用紙、結果等を基にした学生が不利益となる行為、また、講義・実習担当者が不利益となる行為は禁止する。
- 6 評価を実施した教員以外の者、各学部の教務委員会・部会等から結果等の開示・使用依頼がある場合は、本委員会およびセンター委員会の議を経たうえで提供することができる。

(管理)

第5条 評価用紙、結果等の管理責任者はセンター長とする。

- 2 評価用紙、結果等の管理・保管は矢巾キャンパス教務課が行う。

(保存)

第6条 結果等の保存期間は10年とする。

(改廃)

第7条 この内規の改廃は、センター委員会の議を経る。

附則 この内規は平成22年4月1日から施行する。

附則 この内規は平成23年4月1日から施行する。（平成23年5月25日 一部改正）

附則 この内規は平成26年4月1日から施行する。

附則 この内規は平成28年4月1日から施行する。

## 教養教育センター授業評価実施要領

### 1. 目的

- 1) 教育の合理的・効率的実施と教育環境の経時的・合目的改善
- 2) 外部評価に耐えうる教育の自主的評価の確立

### 2. 実施項目

- 1) 学生による授業の評価（回答：全履修登録学生）
- 2) 教員による講義・実習評価（回答：全授業担当教員）
- 3) 学生による科目全体の評価（回答：履修登録学生。対象：原則として複数の教員で担当する科目とする。

### 3. 実施方法

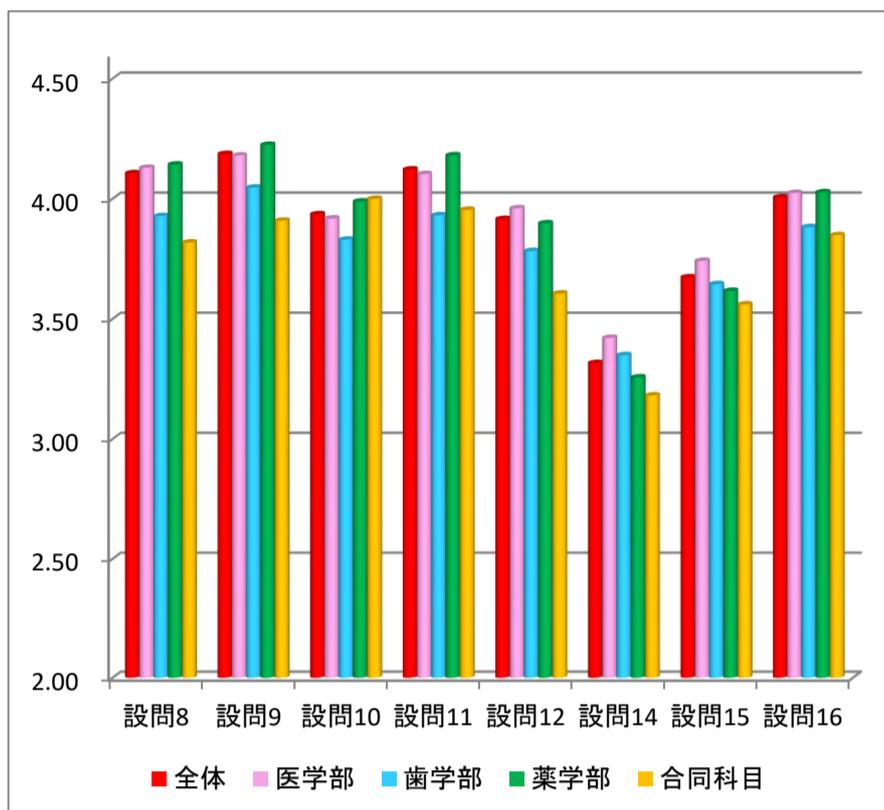
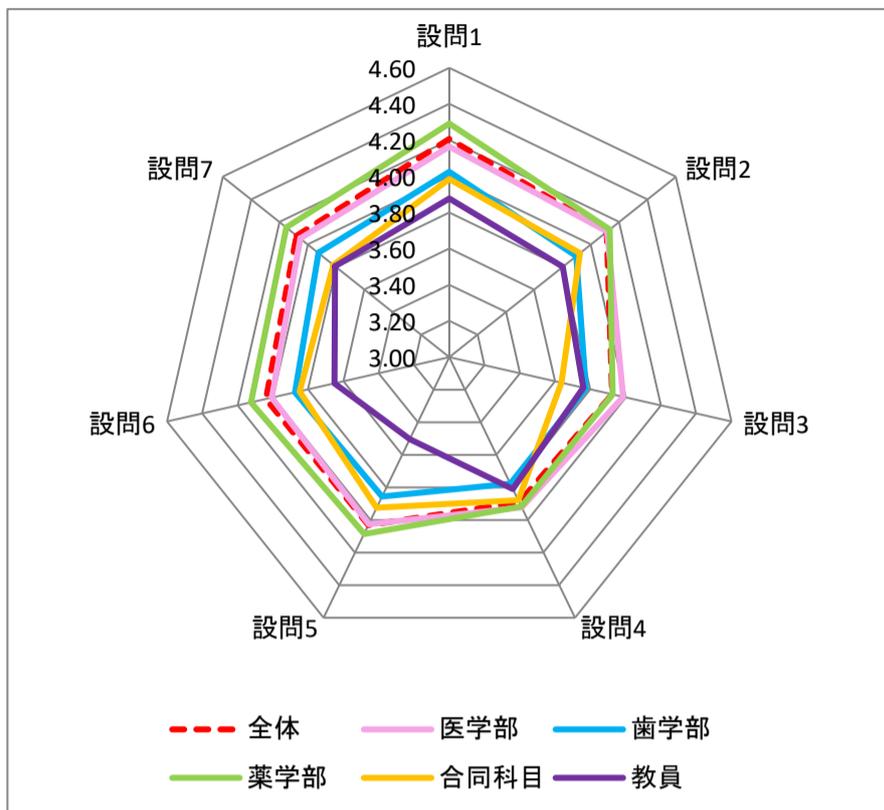
- 1) 授業評価は、原則として1科目3回以上授業実施する担当教員による科目について実施する。
- 2) 授業評価の実施回数ならびに日時は、次にあげる者が決定する。
  - ① 教員単独で担当する科目については担当教員
  - ② 複数の教員で担当する科目についてはその科目責任者
- 3) 「学生による授業の評価」と「教員による講義・実習の評価」は本委員会が指定した評価用紙を用いて記名式で同時に行う。
- 4) 授業評価は、原則として当該科目の授業時間内に実施する。
- 5) 複数の教員で担当する科目については、科目責任者の指示により、科目全体もしくは担当教員毎に行う。
- 6) 学生からの評価用紙は、講義室に設置してある回収箱に学生個々が直接提出する。
- 7) 教員からの評価用紙は、前項と同様に講義室の回収箱か教務課に提出する。
- 8) 評価用紙（学生及び教員分）は、教員単独で担当する科目に対しては担当教員に、複数の教員で担当する科目に対してはその科目責任者に事前に配付する。
- 9) 評価回答はマークシート方式を用いて行う。
- 10) 集計作業は矢巾キャンパス教務課が行う。
- 11) 調査結果の解析は教養教育センター教育評価研修専門委員会（以下「本委員会」）が行う。調査結果・解析結果（以下「結果等」）の概要は、前期及び後期終了時に本委員会及び教養教育センター委員会に報告する。
- 12) 結果等は、当該授業評価終了の都度担当教員と科目責任者に通知しフィードバックを図る。但し、個々の学生の評価内容は教員へは通知しない。
- 13) コメント欄に記載された事項は解析の対象とせず、当該科目担当者と科目責任者に通知し、フィードバックを図る。
- 14) 評価用紙、結果等の管理責任者は教養教育センター長とし、その管理・保管は矢巾キャンパス教務課が第三者に漏洩しないよう、また、目的以外に使用されないよう適切に管理する。

# 実施結果

- 「学生による授業の評価」平均ポイント
  - ・「授業の評価」総合結果
  - ・「授業の評価」評価実施時期別（前期・後期）結果
  - ・「授業の評価」専門・教養別結果
  - ・「科目全体の評価」総合結果
- 平成 28 年度 Best Teacher/Best Class

# 『学生による授業の評価』 総合評価

## 平均ポイント



※問13は尺度項目が異なるためグラフから削除しています。

	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問15	設問16	人数(名)	科目数(延べ)
<b>全体</b>	4.21	4.11	3.92	3.89	4.03	4.04	4.08	4.11	4.19	3.94	4.12	3.92	2.64	3.32	3.67	4.01	10,989	198
<b>医学部</b>	4.16	4.12	3.99	3.92	4.03	4.01	4.05	4.13	4.18	3.92	4.10	3.96	2.67	3.42	3.74	4.02	4,074	55
<b>歯学部</b>	4.03	3.90	3.77	3.78	3.86	3.87	3.92	3.93	4.05	3.83	3.93	3.78	2.75	3.35	3.64	3.88	1,516	47
<b>薬学部</b>	4.29	4.13	3.93	3.92	4.09	4.12	4.15	4.14	4.22	3.99	4.18	3.90	2.64	3.26	3.62	4.03	3,568	58
<b>合同科目</b>	3.98	3.92	3.64	3.88	3.92	3.85	3.82	3.82	3.91	4.00	3.95	3.61	2.47	3.18	3.56	3.85	1,842	38
<b>教員</b>	3.88	3.80	3.76	3.81	3.50	3.65	3.81										147	

### 【学生による授業の評価】

- 設問1 授業はよく準備がなされていたか。
- 設問2 話し方は聞き取りやすかったか。
- 設問3 授業の難易度は適切だったか。
- 設問4 授業は学生の理解に合わせて進められたか。
- 設問5 授業内容を分かりやすく伝える工夫が見られたか。
- 設問6 授業の板書、スクリーンやモニターの表示は見やすかったか。
- 設問7 授業の配布資料・教科書などは適切だったか。
- 設問8 シラバスに記載された授業計画・到達目標は適切だったか。
- 設問9 授業は開始時刻や講義時間など、予定時間を守って行われたか。
- 設問10 学生の質問や意見を聴く機会が設けられたか。
- 設問11 授業に教員の熱意が感じられたか。
- 設問12 学習意欲が刺激される授業内容だったか。
- 設問13 この授業に関して費やした自修時間は1コマあたりどのくらいか。
- 設問14 授業内容について質問や議論を積極的に行ったか。
- 設問15 この授業の内容は自分なりに理解できているか。
- 設問16 この授業の総合評価を示してください。

### 【教員による講義・実習の評価】

- 設問1 講義・実習の準備は十分であったか。
- 設問2 要点をわかりやすく教授・指導できたか。
- 設問3 学生の理解度に注意を払い、意欲的に指導を行ったか。
- 設問4 話し方は適切だったか。
- 設問5 学生の学習意欲を刺激できたか。
- 設問6 この授業に対する総合評価を示してください。
- 設問7 学生の受講態度はどうだったか。

▶ 前期に『学生による授業の評価』を実施した科目一覧

医学部	歯学部	薬学部	複数学部合同科目
心理学	心理学	心理学	エッセンシャル生物
健康運動科学	健康運動科学	情報科学	アドバンスト生物
法学	法学	エッセンシャル生物	ベーシック生物
医療における社会・行動科学	医療における社会・行動科学	医療における社会・行動科学	ベーシック数学
ESL	ESL	ESL	ベーシック物理
ERW	基礎歯科学入門	ERW	ベーシック化学
細胞生物学 I	情報リテラシー	基礎有機化学	ベーシック物理
情報リテラシー	生命倫理	薬学演習1(濃度と計算)	スタンダード生物
生命倫理		薬学生物1(機能形態)	文学の世界
			実践英語
			道徳のしくみ
			解析学入門

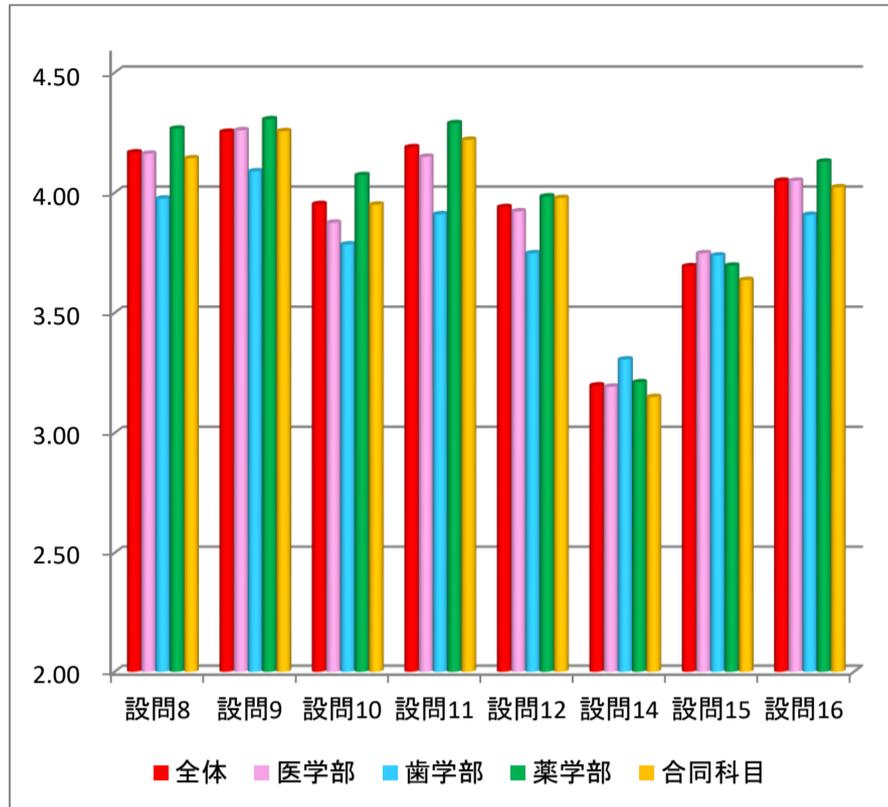
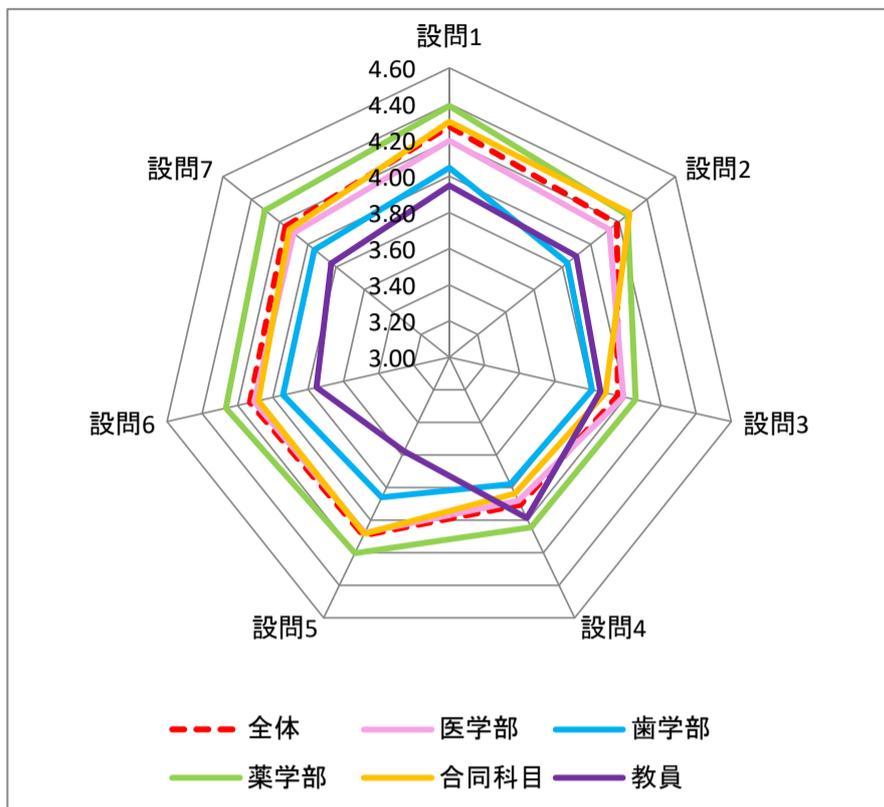
▶ 後期に『学生による授業の評価』を実施した科目一覧

医学部	歯学部	薬学部	複数学部合同科目
ESL	ESL	生命倫理学	科学英語
ERW	ERW	基礎数学	パーソナリティ心理学
医療面接の基礎	医療面接の基礎	基礎物理学	哲学の世界
専門課程への化学	専門課程への化学	基礎化学	人間関係論
物理学	専門課程への生物学	ERW	医療と法律
数理統計学	物理学	分析科学入門	
基礎組織学	数理統計学	健康運動科学	
医化学 I	解剖学	法学	
医科生理学	組織学	薬化学入門	
細胞生物学 II	生理学	薬学演習2(薬化学基礎演習)	
基礎微生物学・基礎免疫学	生化学	薬学基礎数学	
		薬学生物2(生体分子)	
		薬学生物2(生命システム)	

(参考：対象科目数 全104科目中)

## 『学生による授業の評価』 前期結果

### 平均ポイント



※問13は尺度項目が異なるためグラフから削除しています。

	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問15	設問16	人数(名)	科目数(延べ)
<b>全体</b>	<b>4.28</b>	<b>4.19</b>	<b>3.96</b>	<b>3.91</b>	<b>4.09</b>	<b>4.13</b>	<b>4.16</b>	<b>4.17</b>	<b>4.25</b>	<b>3.95</b>	<b>4.19</b>	<b>3.94</b>	<b>2.43</b>	<b>3.20</b>	<b>3.69</b>	<b>4.05</b>	<b>4,960</b>	<b>99</b>
<b>医学部</b>	<b>4.20</b>	<b>4.13</b>	<b>3.99</b>	<b>3.88</b>	<b>4.08</b>	<b>4.11</b>	<b>4.10</b>	<b>4.16</b>	<b>4.26</b>	<b>3.88</b>	<b>4.15</b>	<b>3.92</b>	<b>2.17</b>	<b>3.19</b>	<b>3.75</b>	<b>4.05</b>	<b>1,164</b>	<b>17</b>
<b>歯学部</b>	<b>4.05</b>	<b>3.84</b>	<b>3.81</b>	<b>3.78</b>	<b>3.86</b>	<b>3.94</b>	<b>3.95</b>	<b>3.98</b>	<b>4.09</b>	<b>3.79</b>	<b>3.91</b>	<b>3.75</b>	<b>2.52</b>	<b>3.31</b>	<b>3.74</b>	<b>3.91</b>	<b>582</b>	<b>17</b>
<b>薬学部</b>	<b>4.39</b>	<b>4.26</b>	<b>4.06</b>	<b>4.04</b>	<b>4.20</b>	<b>4.27</b>	<b>4.30</b>	<b>4.27</b>	<b>4.31</b>	<b>4.07</b>	<b>4.29</b>	<b>3.98</b>	<b>2.54</b>	<b>3.21</b>	<b>3.70</b>	<b>4.13</b>	<b>1,596</b>	<b>34</b>
<b>合同科目</b>	<b>4.30</b>	<b>4.28</b>	<b>3.89</b>	<b>3.84</b>	<b>4.08</b>	<b>4.08</b>	<b>4.13</b>	<b>4.14</b>	<b>4.26</b>	<b>3.95</b>	<b>4.22</b>	<b>3.98</b>	<b>2.47</b>	<b>3.15</b>	<b>3.64</b>	<b>4.02</b>	<b>1,618</b>	<b>31</b>
<b>教員</b>	<b>3.95</b>	<b>3.90</b>	<b>3.86</b>	<b>3.99</b>	<b>3.58</b>	<b>3.75</b>	<b>3.83</b>										<b>78</b>	

#### 【学生による授業の評価】

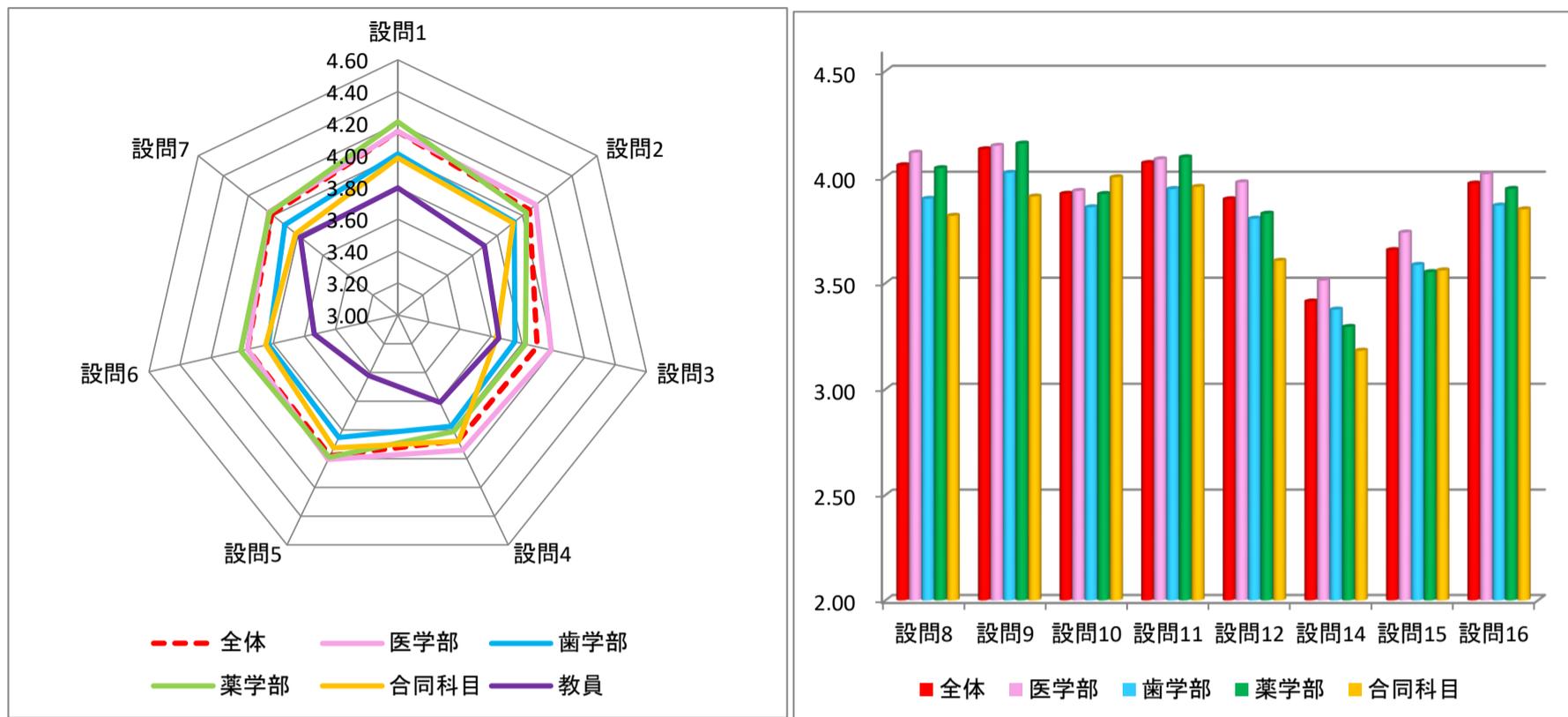
- 設問1 授業はよく準備がなされていたか。
- 設問2 話し方は聞き取りやすかったか。
- 設問3 授業の難易度は適切だったか。
- 設問4 授業は学生の理解に合わせて進められたか。
- 設問5 授業内容を分かりやすく伝える工夫が見られたか。
- 設問6 授業の板書、スクリーンやモニターの表示は見やすかったか。
- 設問7 授業の配布資料・教科書などは適切だったか。
- 設問8 シラバスに記載された授業計画・到達目標は適切だったか。
- 設問9 授業は開始時刻や講義時間など、予定時間を守って行われたか。
- 設問10 学生の質問や意見を聴く機会が設けられたか。
- 設問11 授業に教員の熱意が感じられたか。
- 設問12 学習意欲が刺激される授業内容だったか。
- 設問13 この授業に関して費やした自修時間は1コマあたりどのくらいか。
- 設問14 授業内容について質問や議論を積極的に行ったか。
- 設問15 この授業の内容は自分なりに理解できているか。
- 設問16 この授業の総合評価を示してください。

#### 【教員による講義・実習の評価】

- 設問1 講義・実習の準備は十分であったか。
- 設問2 要点をわかりやすく教授・指導できたか。
- 設問3 学生の理解度に注意を払い、意欲的に指導を行ったか。
- 設問4 話し方は適切だったか。
- 設問5 学生の学習意欲を刺激できたか。
- 設問6 この授業に対する総合評価を示してください。
- 設問7 学生の受講態度はどうだったか。

## 『学生による授業の評価』 後期結果

### 平均ポイント



	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問15	設問16	人数(名)	科目数(延べ)
<b>全体</b>	<b>4.15</b>	<b>4.06</b>	<b>3.90</b>	<b>3.88</b>	<b>3.98</b>	<b>3.96</b>	<b>4.01</b>	<b>4.06</b>	<b>4.13</b>	<b>3.92</b>	<b>4.07</b>	<b>3.90</b>	<b>2.81</b>	<b>3.41</b>	<b>3.66</b>	<b>3.97</b>	<b>6,029</b>	<b>99</b>
<b>医学部</b>	<b>4.15</b>	<b>4.11</b>	<b>3.99</b>	<b>3.94</b>	<b>4.00</b>	<b>3.97</b>	<b>4.03</b>	<b>4.12</b>	<b>4.15</b>	<b>3.94</b>	<b>4.08</b>	<b>3.98</b>	<b>2.88</b>	<b>3.51</b>	<b>3.74</b>	<b>4.01</b>	<b>2,910</b>	<b>38</b>
<b>歯学部</b>	<b>4.01</b>	<b>3.94</b>	<b>3.75</b>	<b>3.77</b>	<b>3.85</b>	<b>3.83</b>	<b>3.91</b>	<b>3.90</b>	<b>4.02</b>	<b>3.86</b>	<b>3.94</b>	<b>3.80</b>	<b>2.89</b>	<b>3.38</b>	<b>3.59</b>	<b>3.87</b>	<b>934</b>	<b>30</b>
<b>薬学部</b>	<b>4.21</b>	<b>4.03</b>	<b>3.82</b>	<b>3.81</b>	<b>3.99</b>	<b>4.01</b>	<b>4.03</b>	<b>4.04</b>	<b>4.16</b>	<b>3.92</b>	<b>4.09</b>	<b>3.83</b>	<b>2.73</b>	<b>3.29</b>	<b>3.55</b>	<b>3.94</b>	<b>1,972</b>	<b>24</b>
<b>合同科目</b>	<b>3.98</b>	<b>3.92</b>	<b>3.64</b>	<b>3.88</b>	<b>3.92</b>	<b>3.85</b>	<b>3.82</b>	<b>3.82</b>	<b>3.91</b>	<b>4.00</b>	<b>3.95</b>	<b>3.61</b>	<b>2.47</b>	<b>3.18</b>	<b>3.56</b>	<b>3.85</b>	<b>224</b>	<b>7</b>
<b>教員</b>	<b>3.80</b>	<b>3.70</b>	<b>3.65</b>	<b>3.61</b>	<b>3.42</b>	<b>3.54</b>											<b>69</b>	

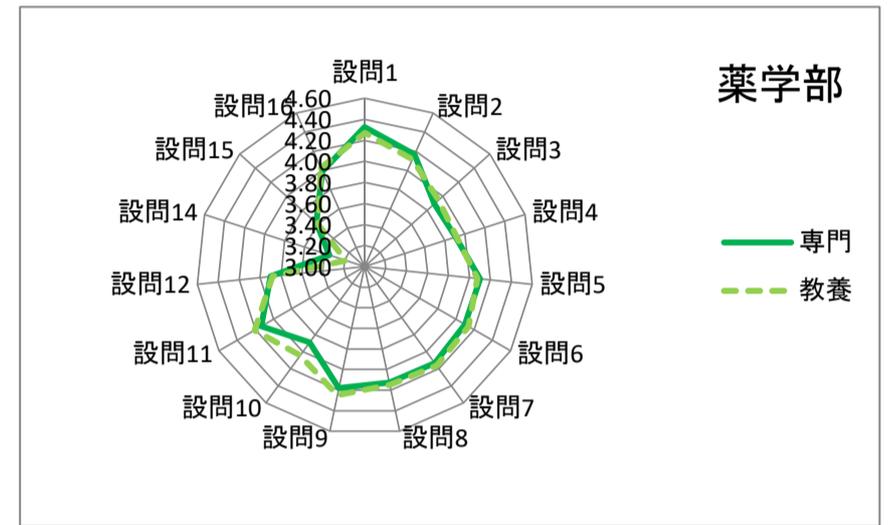
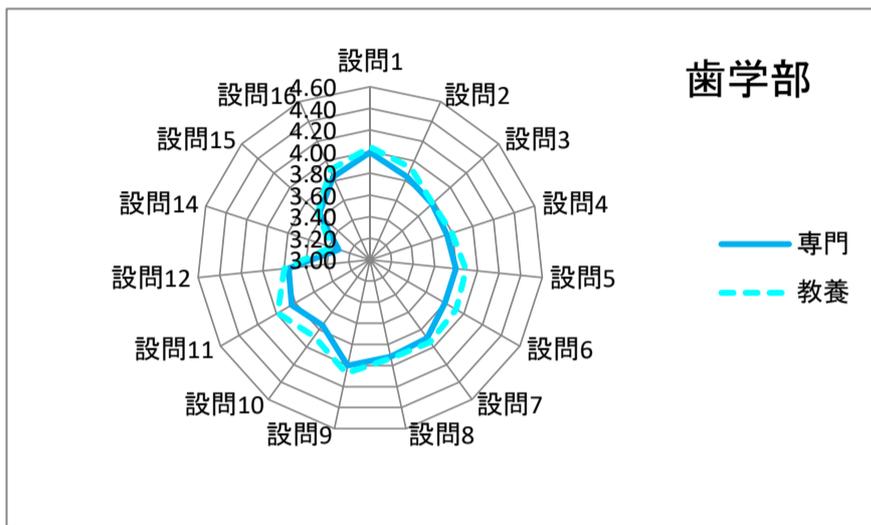
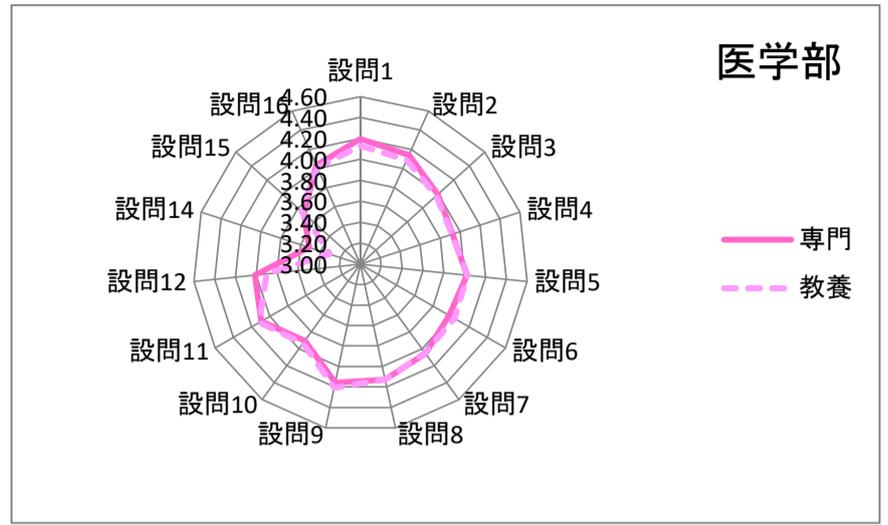
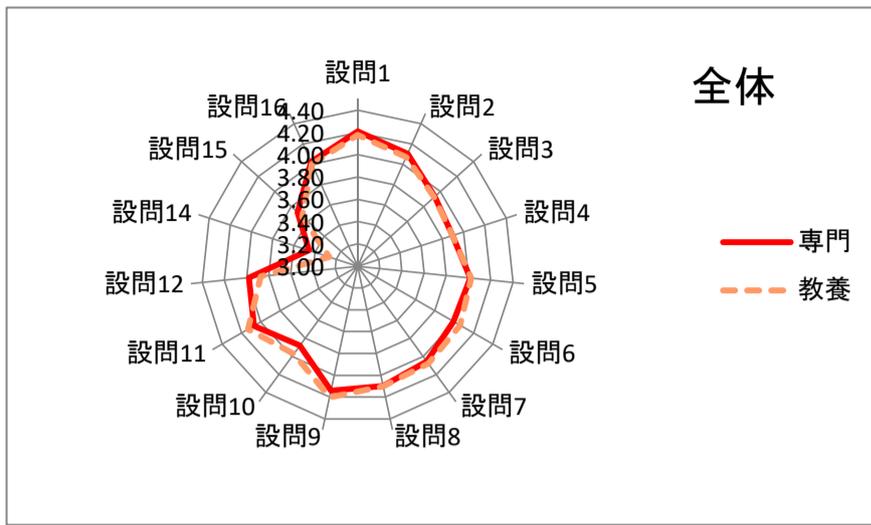
### 【学生による授業の評価】

- 設問1 授業はよく準備がなされていたか。
- 設問2 話し方は聞き取りやすかったか。
- 設問3 授業の難易度は適切だったか。
- 設問4 授業は学生の理解に合わせて進められたか。
- 設問5 授業内容を分かりやすく伝える工夫が見られたか。
- 設問6 授業の板書、スクリーンやモニターの表示は見やすかったか。
- 設問7 授業の配布資料・教科書などは適切だったか。
- 設問8 シラバスに記載された授業計画・到達目標は適切だったか。
- 設問9 授業は開始時刻や講義時間など、予定時間を守って行われたか。
- 設問10 学生の質問や意見を聴く機会が設けられたか。
- 設問11 授業に教員の熱意が感じられたか。
- 設問12 学習意欲が刺激される授業内容だったか。
- 設問13 この授業に関して費やした自修時間は1コマあたりどのくらいか。
- 設問14 授業内容について質問や議論を積極的に行ったか。
- 設問15 この授業の内容は自分なりに理解できているか。
- 設問16 この授業の総合評価を示してください。

### 【教員による講義・実習の評価】

- 設問1 講義・実習の準備は十分であったか。
- 設問2 要点をわかりやすく教授・指導できたか。
- 設問3 学生の理解度に注意を払い、意欲的に指導を行ったか。
- 設問4 話し方は適切だったか。
- 設問5 学生の学習意欲を刺激できたか。
- 設問6 この授業に対する総合評価を示してください。
- 設問7 学生の受講態度はどうだったか。

## 『学生による授業の評価』 専門科目・教養科目別集計



		設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問15	設問16	人数(名)
全体	専門	4.21	4.11	3.93	3.90	4.02	3.99	4.06	4.10	4.14	3.88	4.07	3.98	2.97	3.46	3.72	4.03	4,068
	教養	4.18	4.07	3.92	3.90	4.02	4.06	4.08	4.10	4.20	3.97	4.13	3.87	2.41	3.27	3.67	4.00	5,090
医学部	専門	4.19	4.14	4.00	3.93	4.02	3.98	4.06	4.13	4.16	3.91	4.09	4.01	3.01	3.51	3.73	4.03	2,237
	教養	4.13	4.09	3.97	3.92	4.03	4.04	4.05	4.13	4.21	3.93	4.12	3.90	2.26	3.31	3.76	4.01	1,837
歯学部	専門	3.99	3.84	3.77	3.75	3.80	3.80	3.89	3.92	4.00	3.75	3.84	3.76	2.88	3.31	3.64	3.84	570
	教養	4.04	3.93	3.78	3.79	3.89	3.92	3.94	3.93	4.07	3.88	3.99	3.80	2.67	3.38	3.65	3.91	946
薬学部	専門	4.33	4.17	3.89	3.91	4.10	4.10	4.13	4.13	4.18	3.89	4.13	3.90	2.97	3.35	3.62	3.99	1,261
	教養	4.27	4.12	3.95	3.92	4.08	4.14	4.16	4.15	4.25	4.04	4.21	3.88	2.43	3.19	3.60	4.03	2,307

※教養科目の「複数学部合同科目」は計上していません。

※専門科目には、複数学部合同で実施する科目はありません。

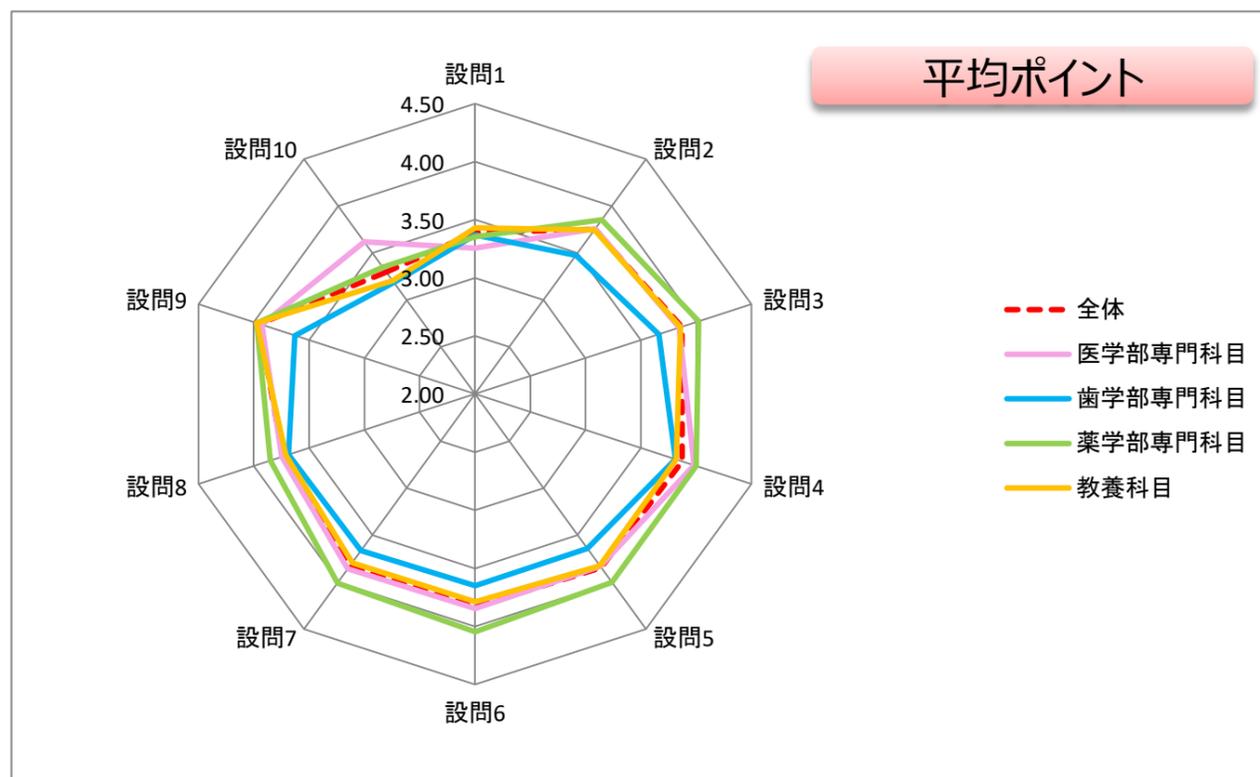
※問13は尺度項目が異なるためグラフから削除しています。

### 【評価設問項目】

- 設問1 授業はよく準備がなされていたか。
- 設問2 話し方は聞き取りやすかったか。
- 設問3 授業の難易度は適切だったか。
- 設問4 授業は学生の理解に合わせて進められたか。
- 設問5 授業内容を分かりやすく伝える工夫が見られたか。
- 設問6 授業の板書、スクリーンやモニターの表示は見やすかったか。
- 設問7 授業の配布資料・教科書などは適切だったか。
- 設問8 シラバスに記載された授業計画・到達目標は適切だったか。
- 設問9 授業は開始時刻や講義時間など、予定時間を守って行われたか。
- 設問10 学生の質問や意見を聴く機会が設けられたか。
- 設問11 授業に教員の熱意が感じられたか。
- 設問12 学習意欲が刺激される授業内容だったか。
- 設問13 この授業に関して費やした自修時間は1コマあたりどのくらいか。
- 設問14 授業内容について質問や議論を積極的に行ったか。
- 設問15 この授業の内容は自分なりに理解できているか。
- 設問16 この授業の総合評価を示してください。

## 『学生による科目全体の評価』 総合結果

「科目全体の評価」は、複数科(講座)にまたがる教員によって実施される科目および実習科目のほか、科目担当責任者が希望する講義科目において実施されます。



	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	人数(名)
<b>全体</b>	<b>3.39</b>	<b>3.75</b>	<b>3.87</b>	<b>3.87</b>	<b>3.85</b>	<b>3.83</b>	<b>3.83</b>	<b>3.74</b>	<b>3.95</b>	<b>3.30</b>	<b>3,232</b>
医学部専門科目	3.26	3.76	3.85	3.98	3.83	3.85	3.86	3.75	3.93	3.62	495
歯学部専門科目	3.37	3.47	3.66	3.81	3.64	3.65	3.67	3.69	3.63	3.19	154
薬学部専門科目	3.35	3.85	4.02	4.00	4.00	4.05	4.01	3.85	3.97	3.35	549
教養科目	3.43	3.75	3.86	3.82	3.83	3.79	3.79	3.71	3.97	3.21	2,034

### 【評価設問項目】

- 設問1 内容に対する時間数は多かったか、少なかったか。  
 設問2 科目全体は系統だったか。  
 設問3 全体を通して、講師の質・講義に対する姿勢は良かったか。  
 (良い・悪い具体的事例があげられる場合は自由記載欄に記入してください。)  
 設問4 最新の知見・知識に触れることができたか。  
 設問5 資料は適切だったか。  
 (良い・悪い具体的事例があげられる場合は自由記載欄に記入してください。)  
 設問6 この科目をこの学年のこの時期に行うことは適切か。  
 (不適切と思う場合は、どこで行うのが効果的と思うかをできるだけ自由記載欄に記入してください。)  
 設問7 この科目の総合的な評価を示してください。  
 設問8 科目全体の統合した知識が身についたか。  
 設問9 講義(実習)に積極的に参加したか。  
 設問10 予習・復習を行ったか。

### ➤ 『科目全体の評価』を実施した科目一覧

専門科目			教養科目		
医学部	歯学部	薬学部	医学部・歯学部合同	3学部	薬学部
細胞生物学Ⅰ	歯科医学概論	薬学入門	エッセンシャル生物	医療と物語	エッセンシャル生物
細胞生物学Ⅱ	基礎歯科学入門	薬学演習2(薬化学基礎演習)	物理学実習	自然・文化人類学	物理学実習
骨学	臨床歯科学入門	薬学生物1(機能形態)	化学実習	医療とスポーツ	情報科学演習
基礎微生物学・基礎免疫学		薬学生物2(生体分子)	生物学実習	医療とコミュニケーション	化学実習
					生物学実習
			・多職種連携のためのアカデミックレジャー(医学部・歯学部・薬学部それぞれにて実施)		

## 平成28年度 教養教育センター-Best Teacher/Best Class

- ✦「学生による授業の評価」設問16(“この授業に対する総合評価を示してください”)の上位3名を、教養教育センターBest Teacherとして顕彰します。
- ✦同一教員が、同一科目で評価を複数回行っている場合や同一科目をクラス分けして実施している場合は、その全てを平均した結果を用いています。
- ✦これまでの実施結果から、評価の実施時期によってポイントに差が出るがわかっているため、可能な限り評価実施を各講義の最終回に設定するよう依頼し、実施時期によるポイント差の是正を図りました。また、これまでの実施結果からは、設問16の評価ポイントは他の設問評価ポイントとも高い相関を示すという結果も得られています。

### 医学部

(対象科目数(延べ):35)

順位	所属	教員氏名	科目名	ポイント	評価人数
1	人間科学科(法学分野)		法学	4.53	114
2	教養教育センター		ESL(M)	4.50	26
	化学科		細胞生物学 I	4.50	128
次点	人間科学科(心理学・行動科学分野)		心理学	4.44	126

### 歯学部

(対象科目数(延べ):30)

順位	所属	教員氏名	科目名	ポイント	評価人数
1	人間科学科(法学分野)		法学	4.50	52
2	外国語学科(英語分野)		ESL(D)	4.34	17.5
	教養教育センター		ESL(D)	4.34	18.3
次点	解剖学講座(発生生物・再生医学分野)		組織学	4.30	54

### 薬学部

(対象科目数(延べ):30)

順位	所属	教員氏名	科目名	ポイント	評価人数
1	外国語学科(英語分野)		ESL(P)	4.57	16.5
2	教養教育センター		ESL(P)	4.53	16
3	人間科学科(法学分野)		法学	4.52	124
次点	教養教育センター		ESL(P)	4.44	15.8

### 複数学部合同科目

(対象科目数(延べ):27)

順位	所属	教員氏名	科目名	ポイント	評価人数
1	化学科		ベーシック化学	4.59	46
2	人間科学科(文学分野)		文学の世界	4.48	25
3	外国語学科(英語分野)		科学英語	4.45	11
次点	人間科学科(文学分野)		医療とコミュニケーション	4.41	56
次点	外国語学科(英語分野)		実践英語	4.41	39

### Best Class (科目全体の評価)

(対象科目数(延べ):28)

順位	所属	科目名	ポイント	評価人数
1	人間科学科(文学分野)	医療と物語 (3学部合同)	4.29	24
2	細胞病態生物学講座	薬学生物1(機能形態) (薬学部)	4.24	143
3	機能生化学講座	薬学生物2(生体分子) (薬学部)	4.18	144
次点	生物学科	生物学実習 (薬学部)	4.11	124



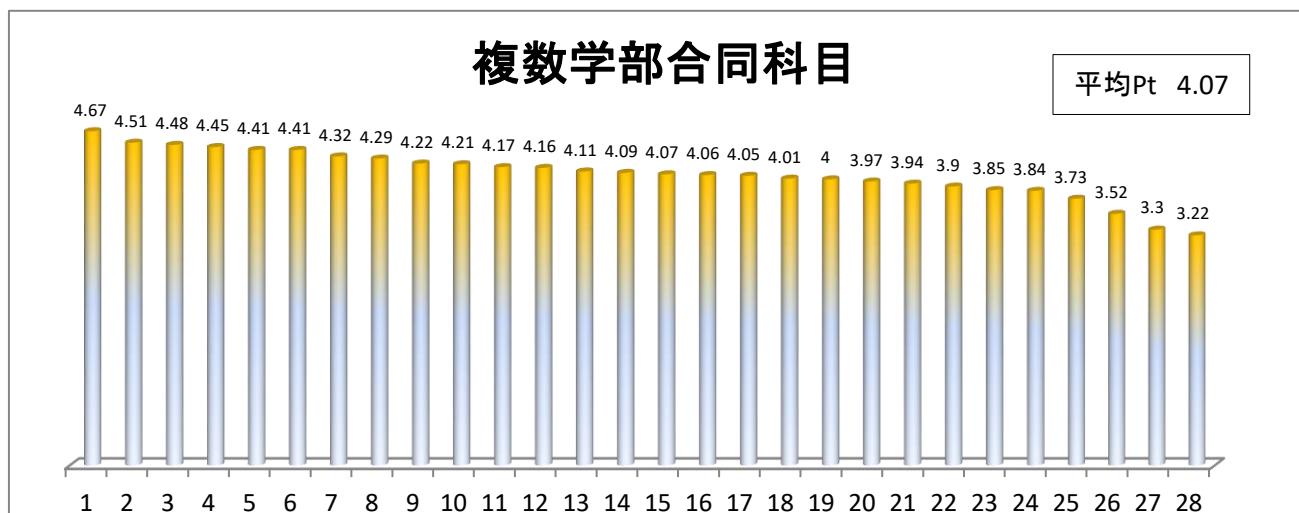
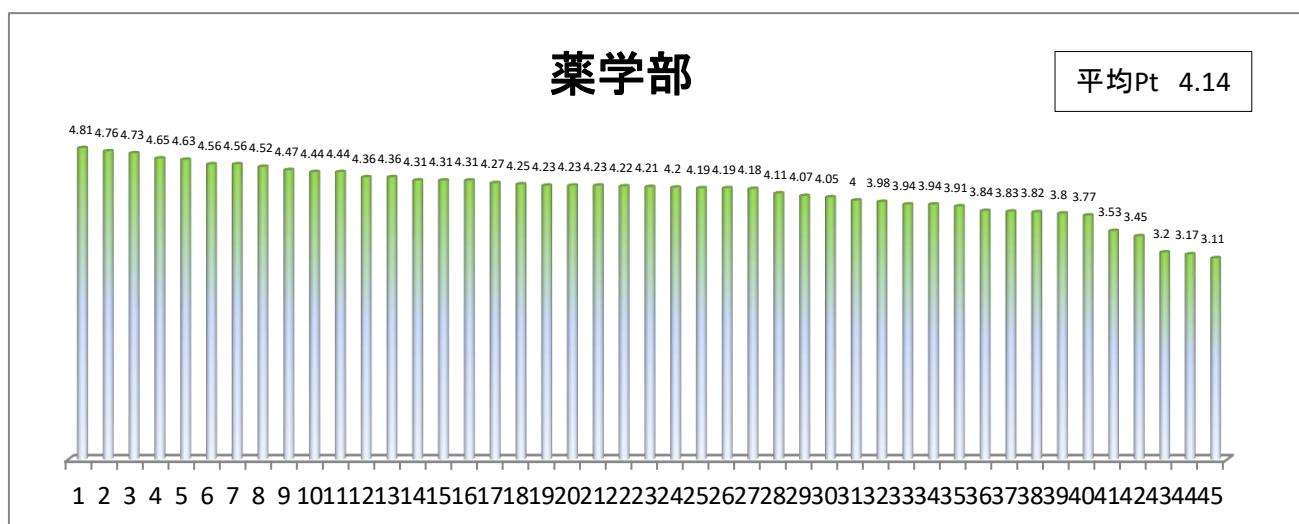
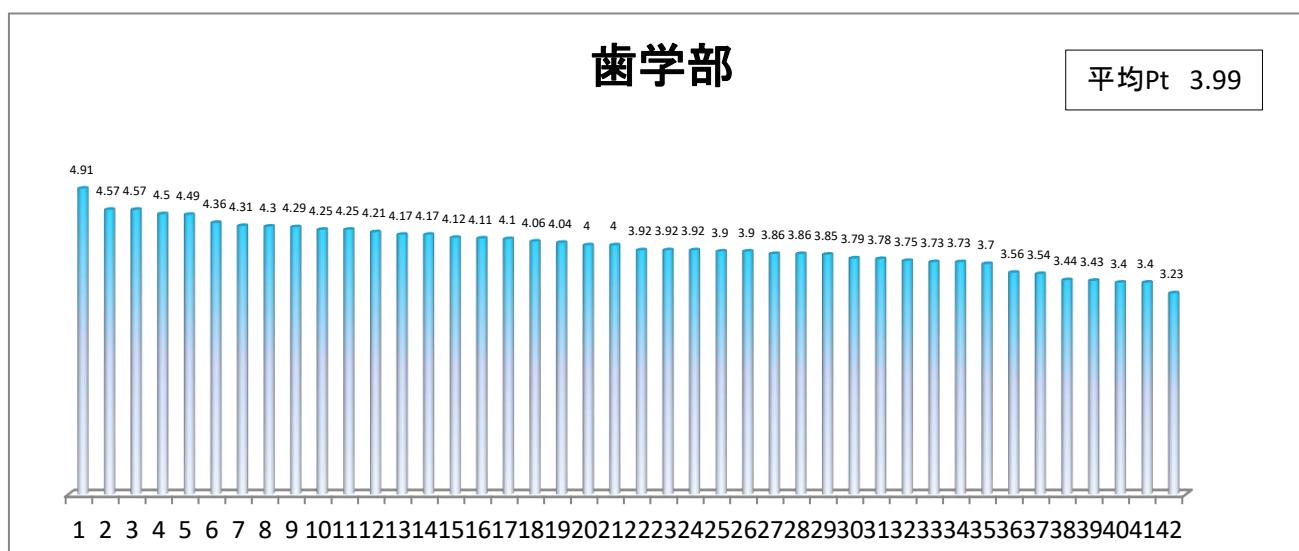
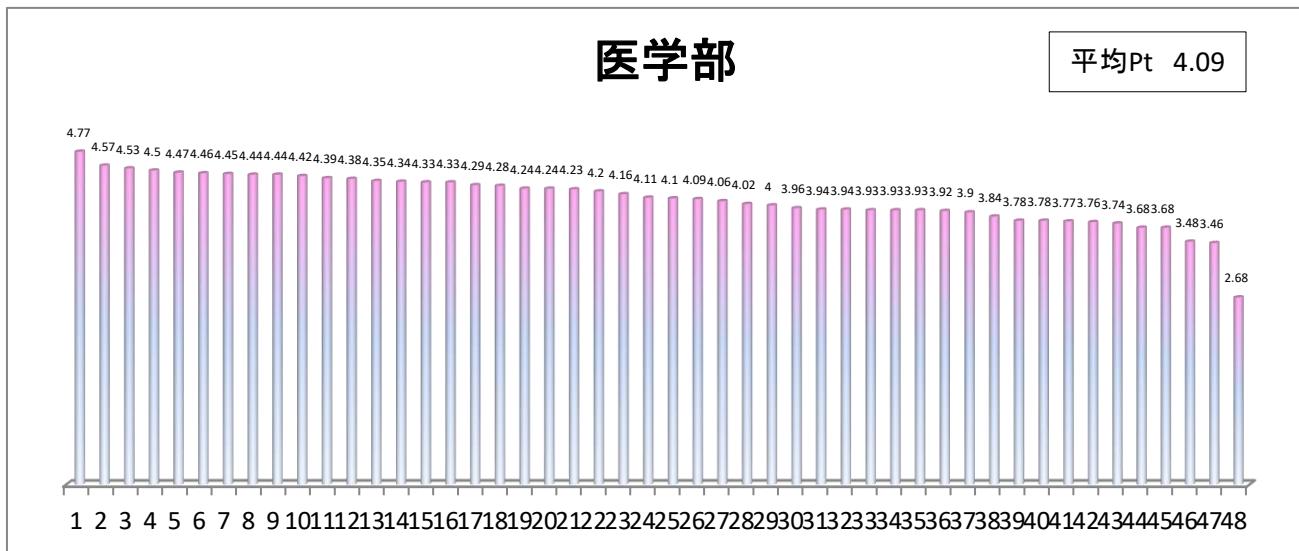
# 結果の解析

- 学部別総合評価（設問 16）ポイント
- 評価人数と総合評価（設問 16）ポイントとの相関
- 総合評価（設問 16）ポイント分布

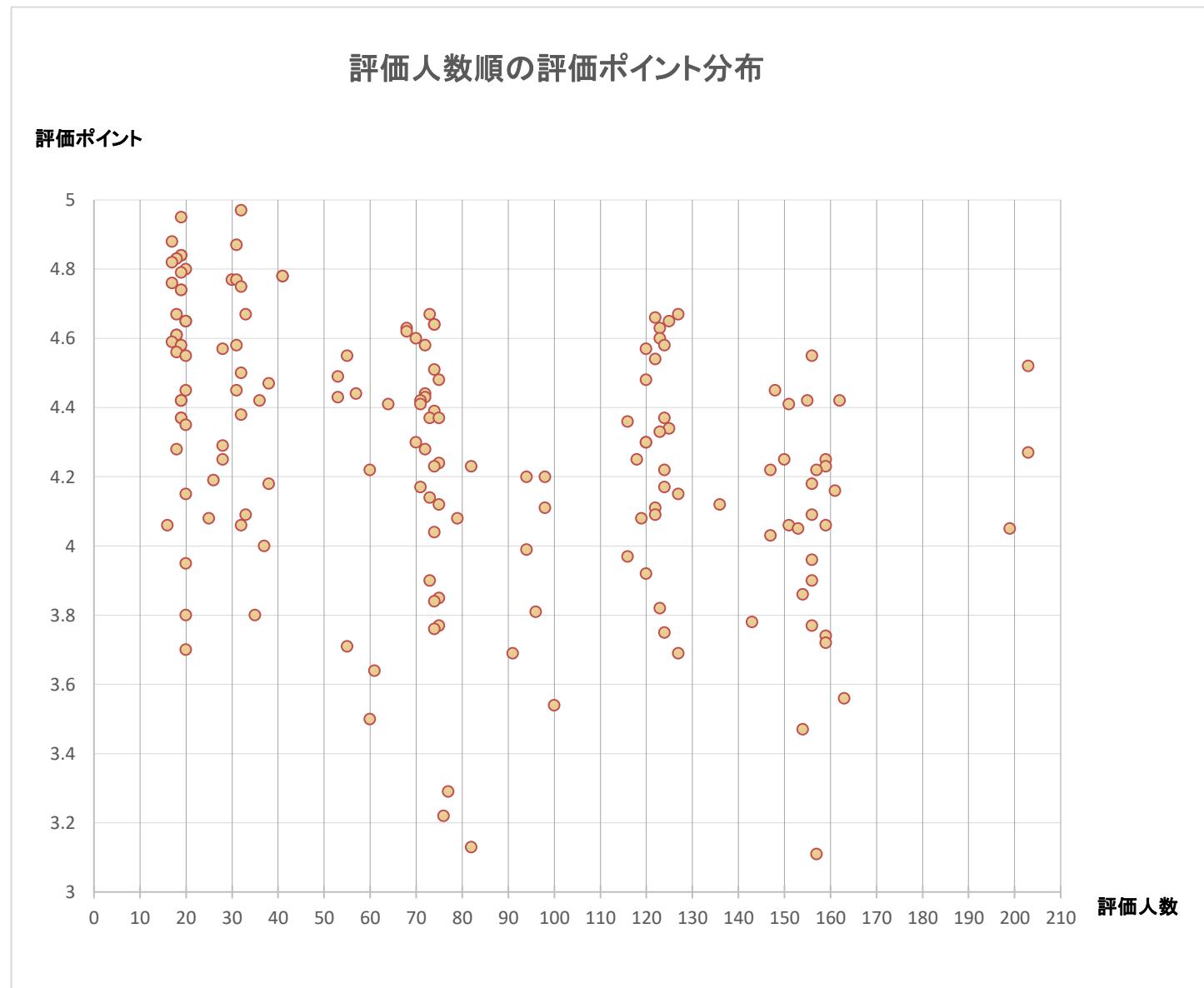
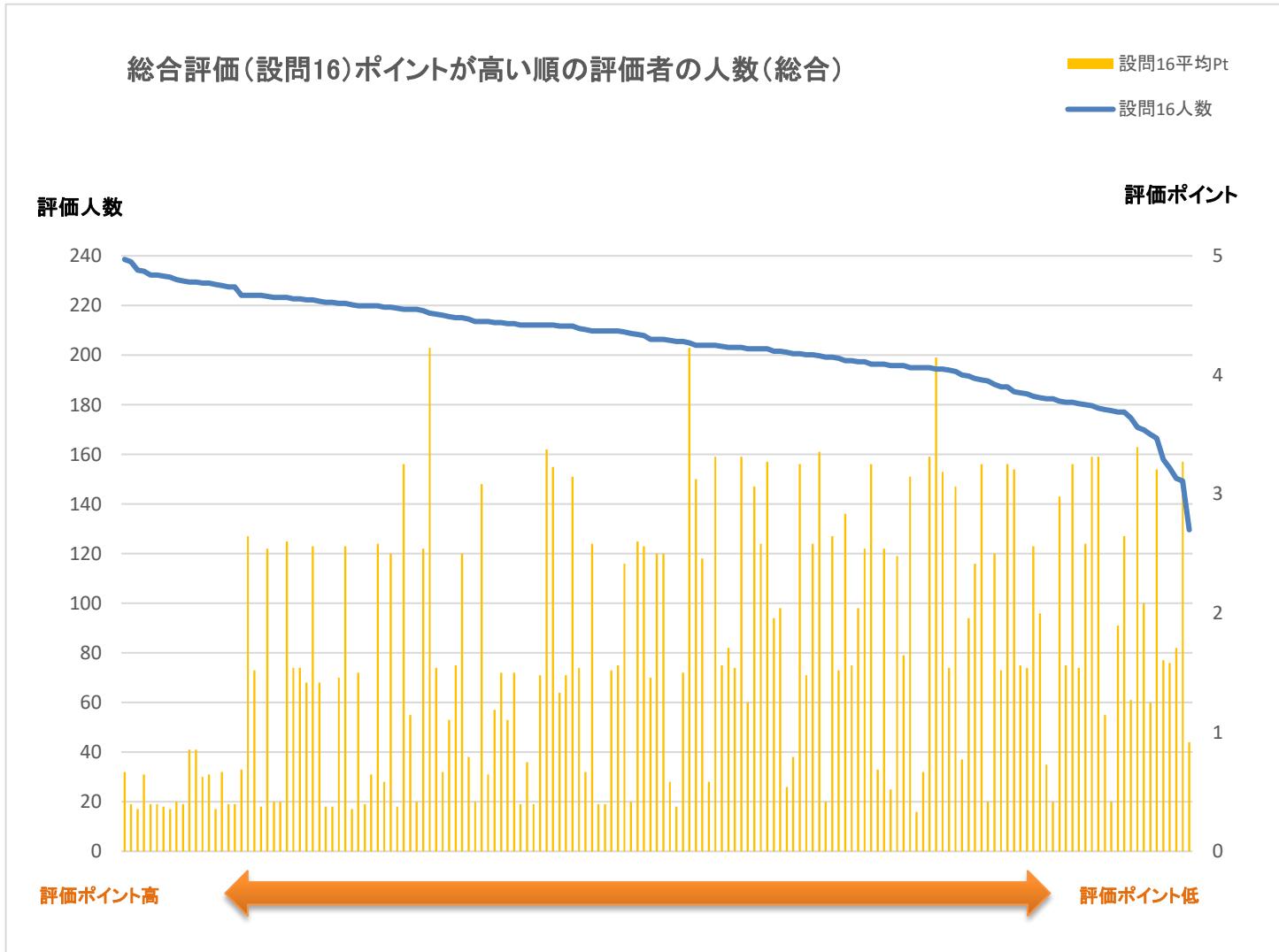
**学部別 総合評価（設問16）ポイント**

**全体平均Pt 4.07**

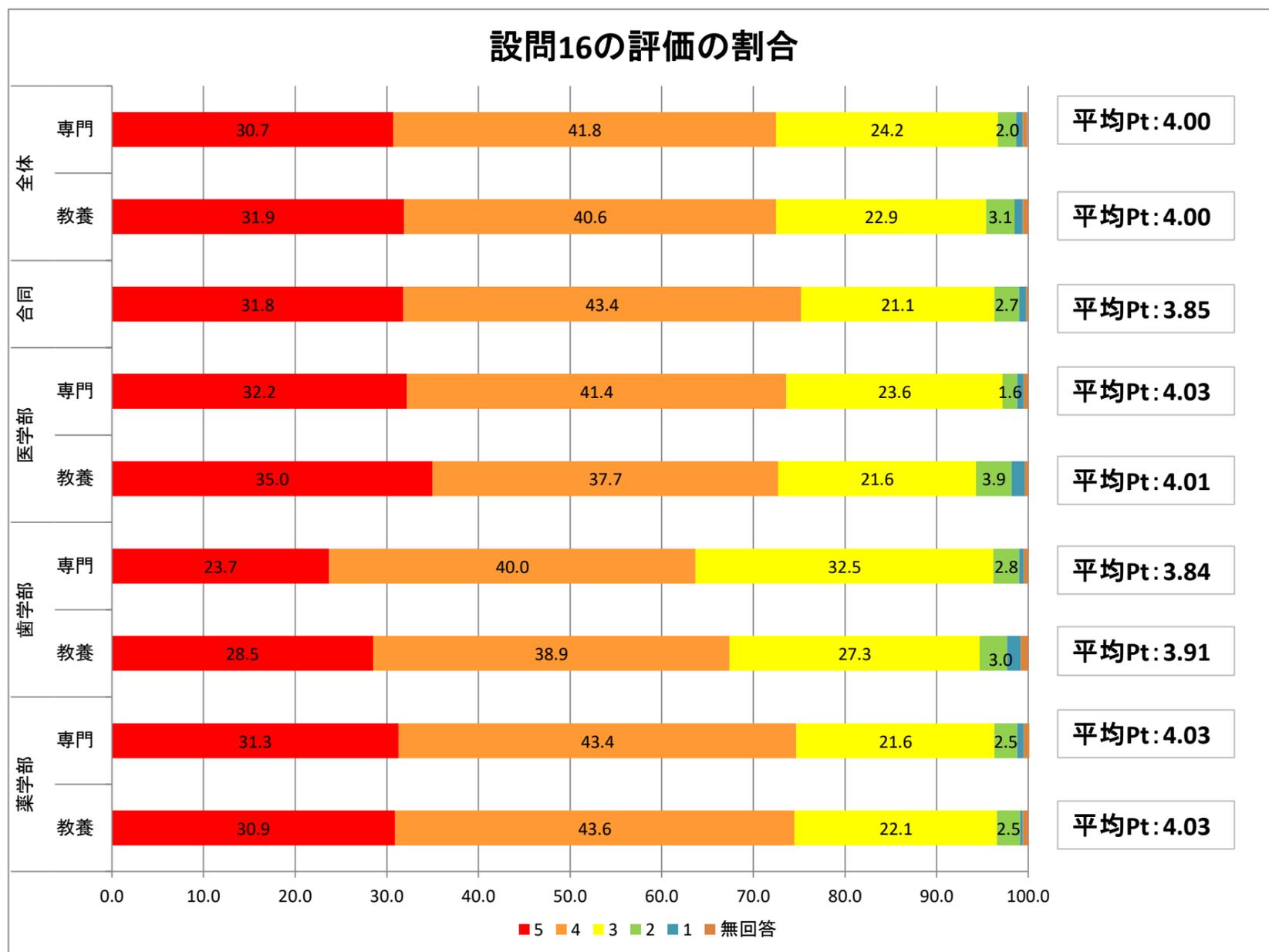
※設問16:この授業の総合評価を示してください。



評価人数と総合評価（設問16）ポイントとの相関



## 総合評価（設問16）ポイント分布



		5		4		3		2		1		無回答 (エラー含)		合計	
		人数(人)	%	人数(人)	%	人数(人)	%	人数(人)	%	人数(人)	%	人数(人)	%	人数(人)	%
全体	専門	1,250	30.7	1,702	41.8	985	24.2	83	2.0	27	0.7	21	0.5	4,068	100
	教養	1,626	31.9	2,065	40.6	1,165	22.9	157	3.1	48	0.9	29	0.6	5,090	100
合同		586	31.8	800	43.4	389	21.1	49	2.7	15	0.8	3	0.2	1,842	100
医学部	専門	720	32.2	927	41.4	528	23.6	36	1.6	15	0.7	11	0.5	2,237	100
	教養	643	35.0	692	37.7	396	21.6	72	3.9	26	1.4	8	0.4	1,837	100
歯学部	専門	135	23.7	228	40.0	185	32.5	16	2.8	3	0.5	3	0.5	570	100
	教養	270	28.5	368	38.9	258	27.3	28	3.0	14	1.5	8	0.8	946	100
薬学部	専門	395	31.3	547	43.4	272	21.6	31	2.5	9	0.7	7	0.6	1,261	100
	教養	713	30.9	1,005	43.6	511	22.1	57	2.5	8	0.3	13	0.6	2,307	100

※複数学部合同科目。教養科目のみ。

- 5: 非常に良い・強くそう思う
- 4: 良い・ややそう思う
- 3: 普通・どちらとも言えない
- 2: あまり良くない・あまりそう思わない
- 1: 悪い・全くそう思わない

# 参考資料

□授業評価マークシート

- ・学生による授業の評価
- ・教員による講義・実習の評価
- ・学生による科目全体の評価

□平成 28 年度 第 1 学年授業科目一覧

□平成 28 年度 教養教育センター授業評価実施状況

# 学生による授業の評価

この調査は、授業をより改善することを目指して実施するものです。得られた情報は授業改善の資料としてのみ用いられ、学生諸君の個人名が開示・閲覧されることはありません。また、成績評定の要因になることもありません。以下の設問に対して、あなたの評価を5段階および記述にて記載してください。

注意事項	・用紙は破損したり曲げたり汚したりしないでください。	(例)
	・HBまたはBの鉛筆を使用してください。	良いマーク ●
	・機械で読み取るため、マークは例のように完全に塗りつぶしてください。	悪いマーク ○
	・消すときは消しゴムで完全に消してください。	短い  うずい  はみだし 

授業科目 コード	千	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	
	百	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	
	十	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	
	一	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	
月 日	月	①	
	日	十	① ② ③
		一	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
		二	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
教 員 コ ー ド	千	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	
	百	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	
	十	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	
	一	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	
学 部	一	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	
出席番号	百	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	
	十	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	
	一	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	
	二	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	

科目名
月日・時限
担当教員名
学年・番号・氏名

	非常に良い	強く思う・良い	やや思う・普通	どちらとも言えない	あまり思う・あまり良くない	全く思う・悪い
問1 授業はよく準備がなされていたか。	⑤	④	③	②	①	
問2 話し方は聞き取りやすかったか。	⑤	④	③	②	①	
問3 授業の難易度は適切だったか。	⑤	④	③	②	①	
問4 授業は学生の理解に合わせて進められたか。	⑤	④	③	②	①	
問5 授業内容を分かりやすく伝える工夫が見られたか。	⑤	④	③	②	①	
問6 授業の板書、スクリーンやモニターの表示は見やすかったか。	⑤	④	③	②	①	
問7 授業の配布資料・教科書などは適切だったか。	⑤	④	③	②	①	
問8 シラバスに記載された授業計画・到達目標は適切だったか。	⑤	④	③	②	①	
問9 授業は開始時刻や講義時間など、予定時間を守って行われたか。	⑤	④	③	②	①	
問10 学生の質問や意見を聴く機会が設けられたか。	⑤	④	③	②	①	
問11 授業に教員の熱意が感じられたか。	⑤	④	③	②	①	
問12 学習意欲が刺激される授業内容だったか。	⑤	④	③	②	①	
問13 この授業に関して費やした自修時間は1コマあたりどのくらいか。	2時間以上 ⑤	1時間~2時間 ④	30分~1時間 ③	30分未満 ②	ほとんどやらない ①	
問14 授業内容について質問や議論を積極的に行ったか。	⑤	④	③	②	①	
問15 この授業の内容は自分なりに理解できているか。	⑤	④	③	②	①	
問16 この授業の総合評価を示してください。	⑤	④	③	②	①	

自由記載欄 \*書ききれない場合は裏面に記載してください。

# 教員による講義・実習の評価

この調査は、授業をより改善することを目指して実施するものです。得られた情報は授業改善の資料としてのみ用いられ、学生諸君の個人名が開示・閲覧されることはありません。また、成績評定の要因になることもありません。以下の設問に対して、あなたの評価を5段階および記述にて記載してください。

注意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>用紙は破損したり曲げたり汚したりしないでください。</li> <li>H BまたはBの鉛筆を使用してください。</li> <li>機械で読み取るため、マークは例のように完全に塗りつぶしてください。</li> <li>消すときは消しゴムで完全に消してください。</li> </ul>	(例) 良いマーク ● 短い うすい はみだし 悪いマーク ○ ⊗ ○ <del>●</del>
------	---	---

授業科目 コード	千	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
	百	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
	十	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
	一	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
月 日	月	①
	一	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
	日	① ② ③
	一	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
教 員 コ ー ド	千	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
	百	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
	十	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
	一	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
出席番号	百	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
	十	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
	一	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨

科目名
月日・時限
氏名

		非常に良い	強くそう思う・ ややそう思う・良い	普通	どちらとも言えない・ あまり良くない	あまりそう思わない・ あまり良くない	悪い	全くそう思わない・ 悪い
I 講義について	問1 講義・実習の準備は充分であったか。	⑤	④	③	②	①		
	問2 要点をわかりやすく教授・指導できたか。	⑤	④	③	②	①		
	問3 学生の理解度に注意を払い、意欲的に指導を行ったか。	⑤	④	③	②	①		
	問4 話し方は適切だったか。	⑤	④	③	②	①		
	問5 学生の学習意欲を刺激できたか。	⑤	④	③	②	①		
	問6 この授業に対する総合評価を示してください。	⑤	④	③	②	①		
II 学生について	問7 学生の受講態度はどうだったか。	⑤	④	③	②	①		
III その他 <small>(必要に応じて各科で設問して)</small>	問8	⑤	④	③	②	①		
	問9	⑤	④	③	②	①		
	問10	⑤	④	③	②	①		
	問11	⑤	④	③	②	①		
	問12	⑤	④	③	②	①		
	問13	⑤	④	③	②	①		
	問14	⑤	④	③	②	①		

IV 自由記載欄	*書ききれない場合は裏面に記載してください。
-------------	------------------------

# 学生による科目全体の評価

この調査は、授業をより改善することを目指して実施するものです。得られた情報は授業改善の資料としてのみ用いられ、学生諸君の個人名が開示・閲覧されることはありません。また、成績評定の要因になることもありません。以下の設問に対して、あなたの評価を5段階および記述にて記載してください。

## 注意事項

- 用紙は破損したり曲げたり汚したりしないでください。
- HBまたはBの鉛筆を使用してください。
- 機械で読み取るため、マークは例のように完全に塗りつぶしてください。
- 消すときは消しゴムで完全に消してください。

(例)

良いマーク ●  
悪いマーク ○ ⊗ ○ ~~○~~

短い うすい はみだし

授業科目 コード	千	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
	百	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
	十	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
	一	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
月 日	月	十 ①
	日	十 ① ② ③
評価 コード	千	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
	百	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
	十	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
	一	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
出席番号	百	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
	十	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
	一	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨

科目名
学年・番号
氏名

非常に良い・多い	強くそう思う・やや多い	ややそう思う・良い	普通・適当	どちらとも言えない	あまり良くない・やや少ない	あまりそう思わない	悪い・少ない	全くそう思わない
----------	-------------	-----------	-------	-----------	---------------	-----------	--------	----------

I 講義について	問1	内容量に対する時間数は多かったか少なかったか。	⑤	④	③	②	①
	問2	科目全体は系統だったか。	⑤	④	③	②	①
	問3	全体を通して、講師の質・講義に対する姿勢は良かったか。(良い・悪い教員について具体的氏名が挙げられる場合は自由記載欄に記入してください。)	⑤	④	③	②	①
	問4	最新の知見・知識に触れることができたか。	⑤	④	③	②	①
	問5	資料は適切だったか。(良い・悪い具体的事例が挙げられる場合は自由記載欄に記入してください。)	⑤	④	③	②	①
	問6	この科目をこの学年のこの時期に行う事は適切か。(不適切と思う場合は、どこで行うのが効果的と思うかをできるだけ自由記載欄に記入してください。)	⑤	④	③	②	①
	問7	この科目の総合的な評価を示してください。	⑤	④	③	②	①
II 自己反省	問8	科目全体の統合した知識が身についたか。	⑤	④	③	②	①
	問9	講義(実習)に積極的に参加したか。	⑤	④	③	②	①
	問10	予習・復習を行ったか。	⑤	④	③	②	①
III その他 (必要に応じて各科目で設問してください。)	問11		⑤	④	③	②	①
	問12		⑤	④	③	②	①
	問13		⑤	④	③	②	①
	問14		⑤	④	③	②	①
IV 記載欄	*書ききれない場合は裏面に記載してください。						

2016 年度 授業評価対象科目一覧 (104 科目)

		前期		後期		通年
医学部	教養科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生命倫理学</li> <li>・エッセンシャル生物</li> <li>・法学</li> <li>・心理学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療における社会・行動科学</li> <li>・情報リテラシー</li> <li>・化学実習</li> <li>・生物学実習</li> <li>・健康運動科学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療面接の基礎</li> <li>・数理統計学</li> <li>・物理学</li> <li>・物理学実習</li> <li>・専門課程への化学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フィットネスとスポーツ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ERW<sup>1</sup></li> <li>・ESL<sup>2</sup></li> </ul> <p>△全人的医療基礎講義</p> <p>・多職種連携のためのアカデミックリテラシー</p>
	専門科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・細胞生物学 I</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・細胞生物学 II</li> <li>・医化学 I</li> <li>・基礎組織学</li> <li>・骨学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医科生理学</li> <li>・基礎微生物学・基礎免疫学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療入門</li> <li>・初年次ゼミナール</li> <li>・症例基盤型問題解決型学修入門</li> </ul>
歯学部	教養科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生命倫理学</li> <li>・エッセンシャル生物</li> <li>・法学</li> <li>・心理学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療における社会・行動科学</li> <li>・情報リテラシー</li> <li>・化学実習</li> <li>・生物学実習</li> <li>・健康運動科学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療面接の基礎</li> <li>・数理統計学</li> <li>・物理学</li> <li>・物理学実習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門課程への化学</li> <li>・専門課程への生物学</li> <li>・フィットネスとスポーツ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ERW</li> <li>・ESL</li> </ul> <p>△全人的医療基礎講義</p> <p>・多職種連携のためのアカデミックリテラシー</p>
	専門科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎歯科学入門</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・解剖学</li> <li>・組織学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生理学</li> <li>・生化学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科医学概論</li> <li>・臨床歯科学入門</li> </ul>
薬学部	教養科目/自由科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心理学</li> <li>・医療における社会・行動科学</li> <li>・物理学実習</li> <li>・情報科学</li> <li>・情報科学演習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エッセンシャル生物</li> <li>・生物学実習</li> <li>・ESL</li> <li>・フィットネスとスポーツ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生命倫理学</li> <li>・法学</li> <li>・基礎数学</li> <li>・基礎物理学</li> <li>・基礎化学</li> <li>・化学実習</li> <li>・薬学生物 3 (生命システム)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康運動科学</li> </ul> <p>---自由科目---</p> <p>△被災地薬剤師から学び考える「地域におけるこれからの薬剤師のあり方」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ERW</li> </ul> <p>△全人的医療基礎講義</p> <p>・多職種連携のためのアカデミックリテラシー</p> <p>---自由科目---</p> <p>△薬学研究入門</p>
	専門科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬学演習 1 (濃度と計算)</li> <li>・基礎有機化学</li> <li>・薬学生物 1 (機能形態)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬学演習 2 (薬科学基礎)</li> <li>・薬学基礎数学</li> <li>・分析科学入門</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬化学入門</li> <li>・薬学生物 2 (生体分子)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬学入門</li> </ul>
複数学部合同	教養科目/自由科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ベーシック生物</li> <li>・スタンダード生物</li> <li>・アドバンスト生物</li> <li>・自然・文化人類学</li> <li>・ベーシック化学</li> <li>・アドバンスト化学</li> <li>・ベーシック物理</li> <li>・ベーシック数学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・解析学入門</li> <li>・文学の世界</li> <li>・医療とコミュニケーション</li> <li>・道徳のしくみ</li> <li>・医療とスポーツ</li> <li>・実践英語</li> <li>・ボランティア活動論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療と物語</li> <li>・パーソナリティ心理学</li> <li>・哲学の世界</li> <li>・人間関係論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療と法律</li> <li>・科学英語</li> <li>・英語学</li> </ul> <p>---自由科目---</p> <p>△海外英語演習</p>	

<sup>1</sup>ERW : English Reading & Writing

<sup>2</sup>ESL : English Speaking & Listening

(注 1) 教養教育センター主催の授業評価対象は 1 年次科目のみ。

(注 2) 各学部主催でも授業評価が実施されている。

(注 3) △表記の科目は授業評価対象科目に計上しない。(開講数が少ない科目、自由科目)

教養教育センター授業評価実施状況

		前期科目			後期科目			通年科目			合計		
		実施	対象	割合	実施	対象	割合	実施	対象	割合	実施	対象	割合
医学部	教養	9	9	100%	5	6	83%	3	3	100%	17	18	94%
	専門	1	1	100%	6	6	100%	0	3	0%	7	10	70%
	小計	10	10	100%	11	12	92%	3	6	50%	24	28	86%
歯学部	教養	9	9	100%	6	7	86%	3	3	100%	18	19	95%
	専門	1	1	100%	4	4	100%	2	2	100%	7	7	100%
	小計	10	10	100%	10	11	91%	5	5	100%	25	26	96%
薬学部	教養/自由	8	9	89%	8	8	100%	2	2	100%	18	19	95%
	専門	3	3	100%	5	5	100%	1	1	100%	9	9	100%
	小計	11	12	92%	13	13	100%	3	3	100%	27	28	96%
合同	教養/自由	15	15	100%	7	7	100%	0	0	0%	22	22	100%
合計		46	47	98%	41	43	95%	11	14	79%	98	104	94%

(注) 教養教育センター主催の授業評価のみ、各学部主催の授業評価実施は含まれない。







